

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書⑤

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	岐阜本巣特別支援学校全校生徒 215名 (小学部69名、中学部38名、高等部108名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (生活単元学習・総合的な学習の時間) ② 行事名 (ゆめフェスタ) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・スポーツの価値やオリンピック・パラリンピックの理念や意義を学び、東京オリンピック・パラリンピックに関心を高める。 ・学校全体で取り組むことで、達成感を味わうことができる。
5 取組内容	1. 展示物の作製 学部ごとに分担して展示物を作製した。 ・小学部は、東京オリンピックのエンブレム作り。 ・中学部は、東京パラリンピックのエンブレム作り。  

- ・高等部は、学年ごとに調べ学習を中心とした掲示物作り。



2. 「2020 TOKYO オリパラ コーナー」 ゆめフェスタ会場に展示コーナーを設営した。



6 主な成果

- ・発表の場を「ゆめフェスタ」にしたことで、児童生徒だけではなく、保護者の方や、その他多くの外部の方々に見ていただくことができた。
- ・学校全体で行った企画であったため、児童生徒・教員が協力して行い、一体感が生まれた。

7実践において工夫した点 (事業の特色)

- ・児童生徒の実態に合った、教材を準備すること。

8主な課題等

- ・ゆめフェスタでの展示を最終発表としたが、全校集会や学部集会等を使って発表や説明会を行うと、より一層児童生徒の興味・関心が深まったと思う。

9来年度以降 の実施予定

- ・今回とは違った形で継続していきたい。